

単 独

設 計 図 書
(特記仕様書・位置図・工事数量総括表)

2025 年度施行

道路照明LED化工事(その1)

留萌市

特 記 仕 様 書

特記仕様書

- 20 一般事項
01 適用
01 共通仕様書
- 当該工事は、『北海道建設部土木工事共通仕様書』（以下「土木工事共通仕様書」という。）に基づき施工すること。
- 02 土木工事積算基準等
- 1 当該工事の設計図書は、北海道建設部が制定した次の積算基準等に基づき作成している。
 - (1) 一般土木工事
「土木工事積算要領」、「土木工事積算基準」、「土木工事工種体系化の手引き」
 - (2) 漁港工事
「漁港関係工事積算基準」、「漁港関係工事工種体系化の手引き・数量算出要領」
 - (3) 下水道工事
「土木工事積算要領（下水道編）」、「土木工事積算基準」、「下水道工事工種体系化の手引き・数量算出要領」
 - 2 「土木工事積算基準」及び「漁港関係工事積算基準」において定めている諸基準に基づき次のとおり扱っている。
 - (1) 機械施工と人力施工等の施工方法や区分は設計図面等から判断し、機械施工が困難である場合を除き、機械施工を標準として積算している。
 - (2) 特記仕様書等で別途明示している場合を除き、各基準において定めている標準工法・標準機種で積算している。
 - (3) 上記（１）（２）については、受注者の任意施工を拘束するものではない。
ただし、現場条件等がこれにより難しい場合には、必要に応じて設計変更する。
 - 3 「土木工事工種体系化の手引き」、「漁港関係工事工種体系化の手引き」及び「下水道工事工種体系化の手引き」において定めている事項を、設計図書の規格・摘要欄に明示しているが現場条件等に差異が生じた場合には、設計変更の対象とする。
 - 4 当該工事の数量算出書は、北海道建設部が制定した次の土木工事数量算出要領等に基づき作成している。
 - (1) 一般土木工事
「土木工事数量算出要領」
 - (2) 漁港工事
「漁港関係工事工種体系化の手引き・数量算出要領」
 - (3) 下水道工事
「下水道工事工種体系化の手引き・数量算出要領」

特 記 仕 様 書

03 概数

- 1 「概数として扱う数量一覧表」に示した数量は概数である。概数として扱う事項の施工に当たっては、施工後でなければ数量の確認ができない場合を除き、現地調査終了後速やかに工事監督員と協議し、数量の確定を行い着手すること。
- 2 概数の確定により数量の変更が生じた場合には、設計変更により処理する。
なお、設計に対して過大な出来形数量に変更するものではないことに留意すること。
- 3 「概数として扱う数量一覧表」で示した仮設工の工事数量は、標準的な工法により算出したものであるため、取り合い等によって新たに必要となる項目についても概数として扱う場合がある。
- 4 当該工事において、設計変更図書の作成（設計変更図面の作成及び工事数量の算出）を受注者に行わせることがある。

04 非契約数量

工事数量総括表の単位及び数量が（ ）で表記されている数量（摘要を含む）は、契約事項とならない数量である。
ただし、契約数量に連動して概数の確定や現場条件変更等が生じた場合には、必要に応じて設計変更する。

05 参考図

参考図と朱書きして示した図面は、発注者が想定した工法・材料等を記したものであり、これに示されている事項を指定するものではない。

20 工程関係

02 施工の制限内容

01 時間的制約を求められた場合の報告

当該工事の施工に当たり、関係機関・自治体等から通勤・通学の時間帯や周辺地域の状況により、時間的制約等を求められた場合には

特記仕様書

、工事監督員に報告すること。

10 中間検査

01 中間検査

1 当該工事は、次の段階で中間検査を実施する。

(1) 土木工事共通仕様書 第1編 第1章 1-1-1-23 表1-1によるものを標準とし、工事監督員と協議のうえ、施工計画書に明記すること。

なお、上記以外で、必要に応じて中間検査を追加することがあるが、その時は事前に受注者へ通知する。

2 中間検査の実施に当たっては、実施可能日の14日前までに工事監督員に報告すること。

24 安全対策関係

01 交通安全施設の指定

04 交通処理計画の提出

当該工事は路肩（歩道一部）通行規制を行い施工することを標準とし、交通処理は次によること。

1 着手前に現地状況等を確認のうえ、交通処理計画を作成し工事監督員と協議すること。

2 工事区間は、前後に工事看板、矢印板、バリケード等を配置し、安全対策を実施すること。

3 工事区間は、一般歩行者の通行帯として2m以上の幅員を確保すること。

4 交通管理者への許可申請等において、交通処理計画の変更を求められた場合には、工事監督員に報告すること。

06 バリケード等の設置、誘導警備員の配置

当該工事箇所は、通学路となっている箇所があるため、児童が工事区域内へ侵入しないようバリケード・保安灯を設置し、更に工事車両の出入りの際には、現場内誘導員を配置し、安全対策を講じること。

配置については、施工計画書に明記すること。

特記仕様書

03 交通誘導警備員制約

01 交通誘導警備員の配置（片側交互通行）

当該工事の施工に当たっては、一部、片側交互通行を予定している。次の作業期間中（休憩時間含む）は交通誘導警備員を配置するものとし、交通誘導警備員 1 2 名を見込んでいる。（概数）

なお、毎日の作業終了後は現況幅員程度を確保することとし、一般交通等に支障がないよう安全対策を講じること。

04 交通誘導警備員の資格及び配置

当該工事は、市街地及び公安委員会が認定する検定合格警備員の配置を必要とする路線に係る工事現場があるため、交通誘導警備員は、警備業法による警備員とすること。

なお、警備員は延 1 2 人（昼、概数）を予定しているが、警察等の協議により変更が生じた場合には、工事監督員と協議すること。

01 現場代理人の常駐義務緩和について

1 現場代理人は、原則として当該建設工事の着手日から完成届の受理日まで工事現場に常駐し、運営取締りを行うものとする。ただし、次のいずれかに該当する期間は、工事現場に常駐を要しないことができるものとする。

（1）契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間

（2）建設工事の全部を一時中止している期間

（3）上記に掲げる期間のほか、工事現場において作業等が行われていない期間

2 次の各号のすべてに該当する場合に、現場代理人の兼務を認めるものとする。ただし、現場の状況等を考慮し、現場代理人を兼務することが適当でないと認めたときは、この限りでない。

（1）兼務する建設工事と関連性がある建設工事若しくは、同一の工種の建設工事であること。

（2）兼務する建設工事の請負金額が 4, 5 0 0 万円（建築一式工事 9, 0 0 0 万円）未満であること。

（3）兼務ができる工事は、原則 3 件以内であること。ただし、災害復旧工事については、別途協議により決定する。

（4）兼務する工事は、原則、留萌市内の公共工事であること。

（5）工事監督員と常に連絡が取れる体制を確保できること（携帯電話や連絡責任者の配置）。

（6）現場代理人は、兼務するいずれかの工事現場に常駐すること。

特記仕様書

- 3 受注者は、同一の現場代理人を複数工事現場に配置しようとする場合は、現場代理人兼務届出書（別途様式第1号）を、市長に提出するものとする。

概数として扱う数量一覧表

		工事名	道路照明LED化工事(その1)			当初	事業区分	道路新設・改築	
							工事区分	道路維持	
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
道路維持				式		1			
道路付属施設工				式		1			
照明工				式		1			
灯具交換				台		44		概数	
構造物撤去工				式		1			
運搬処理工				式		1			
殻処分			水銀ランプ・ナトリウムランプ	本		44		概数	
殻処分			ガラス	t		0.1		概数	
殻処分			廃プラスチック	t		0.1		概数	
現場発生品運搬			水銀ランプ・廃プラスチック 運搬距離：L = 3.5km	回		1		概数	
現場発生品運搬			ガラス 運搬距離：L = 3.7km	回		1		概数	

位 置 図

位置図

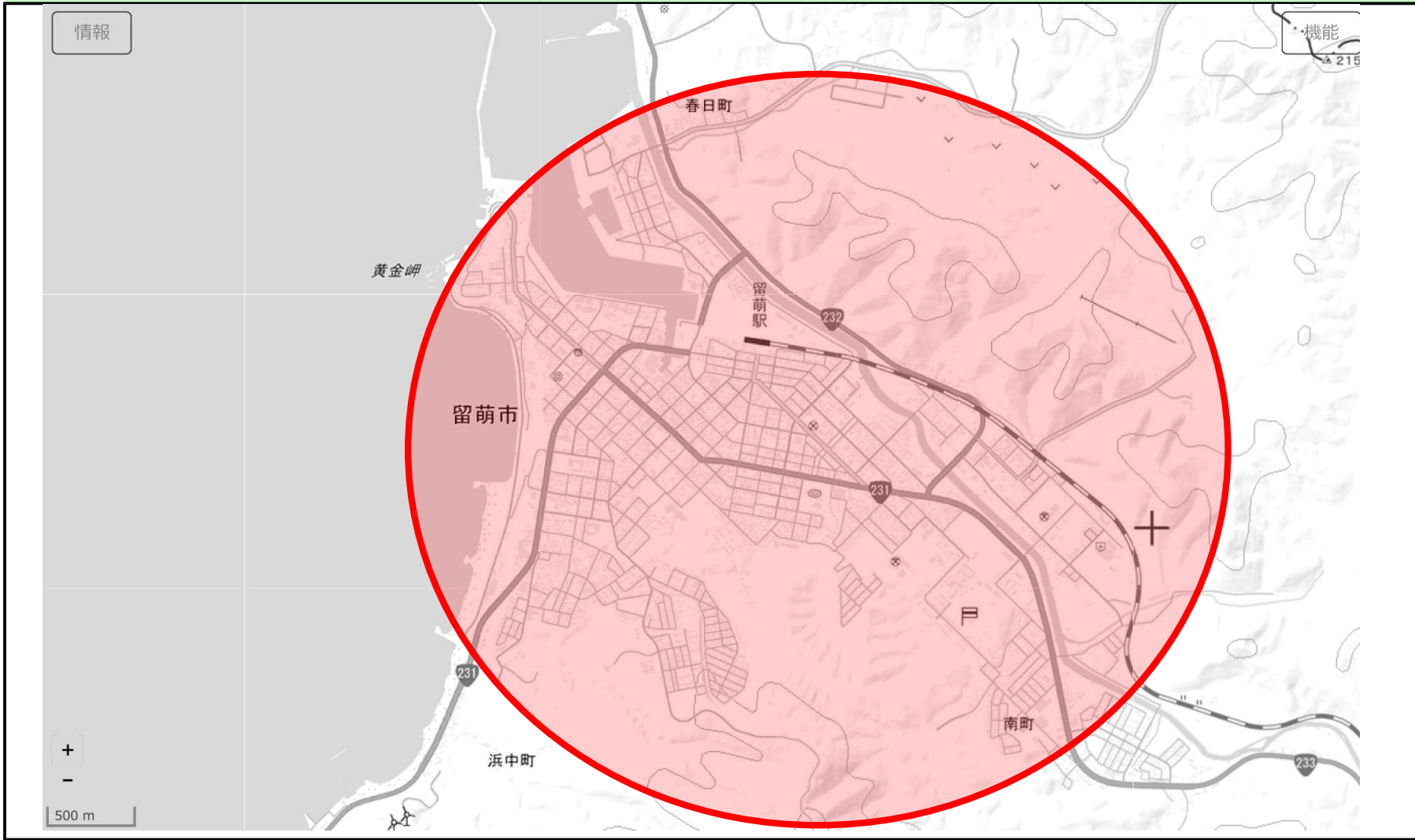
工事名	道路照明LED化工事(その1)																	
施工箇所	留萌市 市内一円																	
範囲	起 点	北緯	度	分	秒	東経	度	分	秒	終 点	北緯	度	分	秒	東経	度	分	秒

※工事箇所の住所については施工起点の左側の住所としています。

※緯度経度については、世界測地系であり地理院地図を利用した簡易測定結果。



図面は上が北です



- <凡例>

旗揚線

施工箇所

留萌市

施工箇所塗り（丸印が起点）

建設副産物の仮置箇所

残土処理場箇所・仮置箇所

土取場箇所・発生土受渡箇所

その他指定する箇所（仮設ヤード等）

輸送起点等

表示情報（表示している情報は■）

☒ 施工箇所・施工範囲

☐ 建設副産物の仮置箇所

☐ 残土処理場

☐ 仮置場

☐ 土取場

☐ 発生土受渡箇所

☐ 輸送起点箇所

☐ その他
- 備 考
- 地図の出典元：国土地理院

工 事 数 量 総 括 表

工事名 道路照明LED化工事(その1)

留萌市

工事数量総括表

		工事名	道路照明LED化工事(その1)			(当 初)	事業区分	道路維持・修繕		
						工事区分	道路維持			
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	摘要		
								現場条件		単位
道路維持				式		1				
道路付属施設工				式		1				
照明工				式		1				
灯具交換				台		44		< 10 台当たり > LED道路照明灯具 灯具脱落防止金具 照明器具取付 照明器具取付 安全ブレーカー 引込用バンド 6 0 0 V ビニル絶縁シースケーブル	台 個 台 台 個 個 m	10 10 10 10 10 80
構造物撤去工				式		1				
運搬処理工				式		1				

工事数量総括表

		工事名	道路照明LED化工事(その1)			(当 初)	事業区分	道路維持・修繕		
							工事区分	道路維持		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	摘要		
								現場条件	単位	数量
殻処分			水銀ランプ・ナトリウムランプ	本		44		< 1 本当たり> 水銀ランプ、ナトリウムランプ、ネオハイドランプ受	本	1
殻処分			ガラス 【再資源化廃棄物受入費 コン殻、アス殻、レンガ、石、ミル外、アス殻混じり土等、ガラス、タイル、便器、スレート、耐火煉瓦等 】	t		0.1		< 1 t当たり> 処分費(t)	t	1
殻処分			廃プラスチック	t		0.1		< 1 t当たり> 廃プラスチック(ビニル類、合成繊維、硬質塩化ビニル管、	t	1
(現場発生品運搬)			水銀ランプ・廃プラスチック 運搬距離：L=3.5km	(回)		(1)		< 1 回当たり> 現場発生品及び支給品運搬	t	1
(現場発生品運搬)			ガラス 運搬距離：L=3.7km	(回)		(1)		< 1 回当たり> 現場発生品及び支給品運搬	t	1
仮設工				式		1				
交通管理工				式		1				
(交通誘導警備員)			交通誘導警備員A	(人日)		(6)		< 1 人日当たり> 交通誘導警備員A	人日	1
(交通誘導警備員)			交通誘導警備員B	(人日)		(6)		< 1 人日当たり> 交通誘導警備員B	人日	1

工事数量総括表

		工事名	道路照明LED化工事(その1)			(当 初)	事業区分	道路新設・改築		
							工事区分	共通仮設費		
工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	摘要		
								現場条件		単位
直接工事費				式		1				
共通仮設費				式		1				
共通仮設費(率計上)				式		1				
純工事費				式		1				
現場管理費				式		1				
工事原価				式		1				
一般管理費等				式		1				
工事価格				式		1				
消費税相当額				式		1				
工事費計				式		1				